



第13回 通常総会が開催されました



6月12日(日)、たすけあいあさひにおいて通常総会が開かれ、2010年度の活動報告・決算報告ならびに、2011年度の事業計画・予算の提案があり承認されました。

* 事業計画概要 *

- ①3月の震災を踏まえ、行政区と連携した災害対策の推進
- ②デイあさひ及びたすけあいあさひ事務所の移転
- ③来年2月に設立20周年を迎えるにあたり、記念行事の開催
- ④サービス向上のためのヘルパー全員研修の実施
- ⑤活動会員の健康診断継続
- ⑥新規事業として、横浜市家庭的保育事業受託の準備



デイあさひでは、昨年来の懸案事項である入浴設備の確保のため、年内に移転をはかる事になりましたが、合わせて事務所も移ります。詳細は、順次お知らせしていきます。

設立20周年に向けて気持ちを新たに、今年度もより良いサービスの提供を目標に、事業の継続に努めていきます。



6月9・10日、被災地に行ってきました。

あさひの福祉運送が加盟する「横浜移動サービス協議会」の活動に、便乗させていただいて。四十路(?)十路を過ぎた女性にはなかなかボランティア現場へのお声はかからないと思っていたので、行くと伺った便に、何はともあれ乗せていただいたのです。当地の支援はもちろんですが、

高い確率で予想される東海地震。遭遇してしまった時、私たちはどう動くのか。その後の日々をどう過ごすのか。現地の状況に圧倒されて、想像する力もすくみませんが、時間をかけて考えなければならぬと思いました。とにかく生きていること、命を生きし続けること。

石巻公民館の避難所から仙台に引っ越すという女性を、荷物ごと移送しながらお話を聞きました。地震後ただただボーとしていたとき、足元に水が。その恐ろしさと言ったら……。車を取りに行く暇はないととっさに判断して、ひたすら逃げた。もし、その時車にこだわっていたら、生きてはいなかったと思う。今夜はアパートで、ひさかたぶりにゆっくりと入浴出来るであろうことに、ともに幸せを感じながら、でも仕事は……。

先の見えない不安感をこらえ、明日への一歩、始まっています。(牧野)

6月の旬

葉の上に雨滴のせて蝸牛

智恵子



「でんでん むしむし かたつむり……」と童謡でも歌われ親しまれている蝸牛。渦巻き状の大きな殻を背負い、頭からは小さな角を出して這う姿は、どこか愛らしい。

長い梅雨の間でも、雨の上がった日中の日射しはまぶしい。紫陽花の葉の上に、小さな蝸牛がひとつ。ゆっくりゆっくり這う様子を、作者は童心に返ってじっと見ていたのだろう。殻にのせた雨滴が光っていた。(榎本 選)